

令和 7 年度 東京都立葛西工科高等学校 学校経営報告

1 今年度の取り組み目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

生徒の実態に即し、P（計画）→D（実施）→C（評価）→A（改善）サイクルを定着させ、常に改善・充実を図った。

いじめ・差別・暴力そして体罰は、絶対に認めない・許さない・見逃さない方針を周知・徹底し、安心して学び、一人一人が力を発揮できる教育環境創りに学校を挙げて取り組んだ。

① 学習指導

- 1 生徒の現状に基づいて、各教科・科目の授業内容を常に精選し、「主体的・対話的で深い学び」の実践について、教員が一体となり、授業改善や指導方法の工夫に取り組んだ。
- 2 実習棟実技系授業を通じて身に付けさせるべき基礎的技能・技術を習得させるとともに、学習意欲を高めさせ技能向上を図った。
- 3 習熟度別授業（数学、英語、工業）や少人数授業（工業、家庭）を行い、授業・指導の工夫等により、生徒の理解度に応じた授業を展開し、基礎学力の定着を図るとともに発展的内容を取り入れた。
- 4 学校全体で授業規律の確保に努め、各授業を通じて、基本的な学ぶ姿勢の指導を徹底した。
- 5 生徒による授業評価が行えなかったため次年度は優先して行う。教員相互の授業見学や公開研究授業・研究協議会・校内研修等を行い、授業力向上に努め、教科横断的な視点から授業改善を進めた。
- 6 専門教科においては、各科ごとに実験・実習を通して理論と基礎技能・技術を身につけさせる指導を充実させ、自校で電気工事士や各種溶接等特別教育、建築系技能検定等を実施した。また、各種業界団体の協力の元、教育効果を高い実習を行った。
- 7 各授業の中でグループワーク等探究活動につながる取り組みを行い生徒の自主性を養った。
- 8 教科「人間と社会」の活動を通して他人に共感し、社会に役立つ喜びを体感させ、進んでボランティア活動や奉仕活動に参加する生徒を育成した。
- 9 一人一台端末の導入に対応した研修を行い、各授業において効果的な活用を実施した。
- 10 東京都統一体力テストを実施し、得られたデータを元にした指導法の改善と、生徒の体力向上を図った。

② 進路指導

- 1 自己実現に向ける意識を高めさせる進路行事を各学年に導入した。
- 2 進路指導部・学年を中心に外部講師を活用し、進路ガイダンスを 1・2 年生 2 回実施した。
- 3 2 学年全員を対象としたインターンシップを 11 月に実施した。
- 4 進路希望 100% 実現し、進路未定者 1 名の進路決定を 3 月下旬まで行った。

③ 生活指導

- 1 遅刻指導、服装・頭髪指導等の改善・充実を進め、基本的生活習慣の確立と規範意識の指導を徹底して、場に相応しい振る舞いを、自ら考え実践できる生徒を育成した。
- 2 日常の清掃活動等を通して、教室美化・校内美化に自ら目を向ける指導を行い、施設や設備を大切に扱う態度を育てた。また、ごみの分別を図ると共にリサイクル教育を徹底した。
- 3 自己の可能性を引き出し、個性を発見・発揮できる機会を増加させるため、学校全体で、部活動を奨励したが加入率は 60% 前後に留まった。
- 4 始業式等式典毎に表彰を行い、特に今年度はコンクリート甲子園全国大会に参加し表彰を受けた。
- 5 スクールカウンセラーを 2 名体制にすることでさらに生徒に寄り添った対応が取れた。

④ 特別活動・部活動

- 1 部活動加入率は 60% 前後と低迷した。（アルバイト原則禁止の徹底を継続中）

- 2 生徒会活動の活性化を図り、ＪＲ東日本と燕三条企業とのイベント参加し表彰を受けた。
- 3 始業式等式典毎に校歌指導を行い、入学生に上級生自らが指導できる体制を取った。
- 4 地域の清掃活動等の様々な地域活動に参加しているが学校ＰＲにつながっておらず次年度検討が必要である
- 5 海外からの視察受入を２件行い、学校見学だけでなく和太鼓部の演舞等行った。

⑤健康づくり

- 1 体育授業や部活動、運動会やスポーツ大会を通じて体力向上を図った。
- 2 学校保健計画に基づき、安全指導等を充実させる。保健だよりの発行等を通じて、健康全般への意識を向上させた。感染症や食物アレルギー等の健康課題に対する理解を高め、組織的に対応する。
- 3 防災教育、交通安全教育、薬物乱用防止教室、普通救急救命講習会等を充実させ、自他の健康・安全を守る力を育成し、生命の尊厳について認識させた。
- 4 「食育」に関して、家庭と連携し生徒自らが健康や食生活を考える健康指導を充実させた。
- 5 特別な支援が必要な生徒への合理的配慮について、具体的な対応内容は、関係機関と連携し、生徒、保護者と話し合い対応した。
- 6 自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱に基づき、自殺対策に資する教育の推進に向けた取り組みを行った。
 - ・命の大切さを実感できる教育。
 - ・ＳＯＳの出し方に関する教育。
 - ・心の健康の保持に係る教育。

⑥募集・広報活動(地域交流等)

- 1 募集対策として、中学校訪問、学校説明会、体験入学、入試説明会、個別相談会等に全職員で組織的に取り組んだ。
- 2 広報活動として、中学校訪問、出前授業、上級学校訪問等に組織的に対応するとともに、江戸川区民まつりや一之江駅前まつり等行事へ生徒を参画させ地域貢献を推進した。
- 3 学校公開、年２回の授業公開を実施し地域に開かれた学校づくりを推進した。
- 4 江戸川区教育委員会と区内中学校校長、区内都立高校校長との定例会は今年度もできなかった。
- 5 近隣の二之江中学校１年生全員を分割し本校でものづくり実習を行うとこで学校ＰＲに繋がった。

⑦学校経営・組織体制

- 1 特にインターンシップにおける受入れ企業は希望企業数が多く早期に手続きを閉めざるを得ない状態であった。また、企業との連携を進め、常に新しい知識や技術をキャッチアップすることができた。
- 2 学校運営連絡協議会（年３回）では活発な意見交換ができた。
- 3 設備拠点校実習として、積極的にグループ校（墨田工１・２年生）の受入を行った。
- 4 学校開放事業を拡充し、一層、施設開放（テニス）・公開講座を行った。
- 5 学校経営計画に基づく各分掌における組織目標の確立を図り実現した。
- 6 ２階職員室のフリーアドレス化を実現し環境整備改善を進めた。次年度は工業各科で実施予定。

⑦学校図書館の活用と読書活動推進

- 1 授業や実習等のレポート課題での図書館の活用を促進することができた。
- 2 貸出冊数の向上と未読者率の減少のため、選書と広報活動等の工夫し利用の促進を図った。
- 3 一定数の生徒の学校での居場所としての機能も果たせた。

(2)重点目標と方策

- ①基本的生活習慣を確立して、授業に積極的に取り組む意欲と態度を高めさせ、進級率を増加させ、転・退学者を減少させる。

- 1 多くの生徒に対し認め・励ます・褒める指導を一層充実させ、生徒の学ぶ意欲を育てた。
- 2 学年と生活指導部の連携を密にし、生徒の基本的生活習慣の確立を徹底した。

- 3 生徒の課題解決のため、保護者との連絡を密にとり、協力・連携を図った。
- 4 特別指導件数はほぼ前年度並みであった。
- 5 皆勤・精勤者は前年度同様低い値であった。また遅刻常習者は減少したが回数は増加した。
- 6 部活動の加入60%前後であった。

②就職希望達成率100%を維持し、卒業時の未就業者を無くす。

- 1 卒業生・外部講師を活用した進路ガイダンスを年間3回以上行った。
- 2 各科ごとに各種業界団体等の企業見学会・講演会、現場見学会を実施した。

③国家資格取得者、検定合格・認定者を増加させる。

- 1 電気工事士や各種溶接等特別教育、建築系技能検定等資格取得指導を充実させる。
- 2 建築部生徒によるコンクリート甲子園全国大会参加と審査員特別賞を受賞した。

(3)数値目標 全て前年度以上を目標とする。

①1年生の進級率(76%)。

②中退者数21名。

③皆勤精勤はほぼ横ばい、遅刻者微減、回数約20%増_未達

④特別指導件数・対象者数増加(11件26名)

⑤部活動加入率60%

⑥就職・進学希望達成率100%。

⑦第2学年におけるインターンシップに全員参加。

⑧各種資格等取得者数、ほぼ横ばい。

⑧ 体罰0件、いじめ1件。

⑨ ホームページの閲覧回数と更新回数の10%増加

⑩超過勤務が月30時間以下(職員平均)を目指し、有給取得 15日以上を目指す⇒未達。

⑫生徒による地域貢献、ボランティア活動を年間5回以上。⇒達成

⑬各科の受検倍率1.0倍以上。⇒未達

1 ジュニアマイスター顕彰

目標	3年度 実績	4年度 実績	5年度 実績	6年度 実績	7年度 実績
前年度以上の 実績	1名	0名	0名	1名	1名
前年度以上の 実績	3名	1名	0名	0名	1名
－	0名	0名	2名	4名	3名
前年度以上の 実績	0名	0名	2名	0名	0名
前年度以上の 実績	4名	1名	4名	5名	5名

2 国家資格並びに各検定等

資 格・免 許 等		目標	2年度 合格者	3年度 合格者	4年度 合格者	5年度 合格者	6年度 合格者	
危険物取扱者		前 年 以 上	3名					
工事担任者			6名	1名				
乙種第4類				1名				
AⅠ第3種			22名	30名	24名	20名	16名	
DD第3種			1名			1名		
第2種電気工事士						4名	3名	
技能士	建築大工3級			10名		4名	4名	
	とび3級		4名	4名	4名	1名		
	鉄筋施工3級						2名	
	家具3級		52名	79名	40名	60名	41名	
ガス溶接技能講習			70名	47名	54名	36名	24名	
アーク溶接特別教育			112名		107名		25名	
小型車両系建設機械特別教育				104名		85名		
玉掛・移動式クレーン特別教育				1名	1名	2名	2名	
2級建築施工管理技術者検定				44名				
建設業経理事務士4級							1名	
パソコン検定（P検）			準2級	4名	5名	2名	10名	6名
			3級	25名	20名	46名	23名	28名
			4級		1名			
日本漢字能力検定			準2級	1名	4名	4名		
			3級		2名	1名	1名	1名
計算技術検定			2級	93名	66名	75名	127名	99名
			3級			101名	57名	26名
			4級			1名		1名
情報技術検定			2級	73名	49名	24名	36名	41名
			3級		1名	31名		
ITパスポート			3級	35名	63名		17名	19名
基礎製図検定					6名	2名		
パソコン利用技術検定			2級	47名	40名	46名	52名	28名
		3級						
延べ人数			548名	578名	563名	536名	367名	